

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	戸籍総合システム構築事業		コード	06-01-16-06
			担当課・係	市民課・市民係
			担当者	大村恭子
事業実施期間	平成18年			
総合計画事業(政策)体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり		
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営		
	小項目(施策)	その他事務管理		

事業について	
目的(何のために)	紙台帳等による手作業の戸籍事務を電算化することにより、事務処理の適正化・迅速化を図り、市民サービスの向上を図る。
対象(誰・何を対象に)	備前市に保管している現在戸籍 24,549戸籍 除籍・原戸籍 64,217戸籍 戸籍の附票
内容	現在戸籍のセットアップ(入力作業)、戸籍総合システムの本稼働、除原戸籍の磁気ディスク化、住民基本台帳との連携システム構築等をおこなう。

事業の結果			
実施項目	回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
現戸籍セットアップ戸籍数		24,549 戸籍	
除・原磁気ディスク化戸籍数		64,217 戸籍	

事業費(単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	国庫補助金等	直接事業費	国庫補助金等	直接事業費	国庫補助金等	直接事業費	国庫補助金等
	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担
	市債		市債		市債		市債	
合計	一般財源等	合計	一般財源等	合計	一般財源等	合計	一般財源等	
		151,637	151,637	0	0	0	0	

必要人員	2.23 人	
結果指標	結果指標名	戸籍セットアップ戸籍数
	結果指標量	24,549
	単位	戸籍
	対前年比	0.00%
	活動にかかるコスト	106,296,366 円
	単位当たりコスト	4,330 円
結果指標	結果指標名	除・原磁気ディスク化戸籍数
	結果指標量	64,217
	単位	戸籍
	対前年比	0.00%
	活動にかかるコスト	45,555,585 円
	単位当たりコスト	709 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	戸籍事務の正確かつ迅速な処理と効率化の達成		
成果指標名	処理日数	式又は説明	戸籍届出を受理してから戸籍記載、証明書発行までに要する日数の短縮
成果指標量	18年度		
	2		
対前年比	-	0.00%	
到達目標値	即日	到達目標年度	18年度

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	A
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等: 戸籍法等	市民の情報を正確に把握することは必要不可欠であり、妥当性は高い。地方自治法に規定される法定受託事務により市が実施するものである。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	事業実施に当たっては、民間活力を利用し、コスト削減に努めた。
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	戸籍総合システムを利用することにより、戸籍事務の簡素・省力化が図られるので、有効性は高い。
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E>	A

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		戸籍システム化が完了し、稼働したため、平成18年度を以って廃止した。
目標値	結果指標量	結果指標量
	成果指標量	

総合評価	評価区分<A~E>
戸籍総合システムの稼働により、届出から証明書発行が迅速かつ、正確に行なわれるようになった。	A

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。